



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 バルテス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4442 URL <https://www.valtes-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 真史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6570
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,669	17.1	533	△34.6	533	△35.5	310	△45.1
2023年3月期第3四半期	6,548	36.8	815	210.3	826	209.9	565	210.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 309百万円 (△45.2%) 2023年3月期第3四半期 565百万円 (210.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	15.17	15.16
2023年3月期第3四半期	27.76	27.63

(注) 1. 2023年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,111	2,720	53.2
2023年3月期	4,089	2,406	58.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,717百万円 2023年3月期 2,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	4.00	4.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期配当金（予想）の内訳 創業20周年記念配当4円

3. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期（予想）の1株当たりの期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式分割を考慮しない場合の2024年3月期（予想）の1株当たりの期末配当金は12円です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,360	14.4	820	△15.4	820	△16.5	506	△22.2	24.74

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2024年3月期（予想）における通期の1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記している株式分割を考慮した金額を記載しています。株式分割の影響を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は74円21銭です。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 3社 （社名）株式会社シンフォー、パルテス株式会社、フェアネスコンサルティング株式会社

（注）詳細は、添付書類P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	21,450,000株	2023年3月期	21,450,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	978,306株	2023年3月期	975,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	20,472,422株	2023年3月期3Q	20,372,159株

（注）当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しています。

（四半期決算説明会開催について）

当社は、2024年2月20日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限解除や、インバウンド需要の増加など、経済活動正常化の進展による景気の緩やかな回復が見られたものの、原材料価格の高止まりや円安を背景とした物価上昇など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界は、生産性の向上を目指して、リモートワーク、クラウド環境の導入、IoT、AI、5G、メタバースなどのデジタルトランスフォーメーション（DX）に関連するIT投資や、企業防衛のためのセキュリティ対策投資を積極化する企業が増加していることを背景に、市場の成長は堅調に継続するものと認識しております。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、潜在市場規模が大きくまた参入障壁の高いエンタープライズ系（注1）領域の開拓への注力を継続し、売上規模と利益率の向上に努めております。一方で、顕在化するエンジニア不足に対しては、優秀なITエンジニアの積極採用、充実した社内研修メソッドによる未経験人材の早期戦力化、業界別ナレッジ蓄積による人材の高スキル化及び外部人材の有効活用、テスト自動化や管理ツールの活用といった施策の展開を行い、順調に受注案件を積み上げております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,669,776千円（前年同期比17.1%増）と堅調に推移しましたが、成長に向けた人的投資の積極化による採用費及び人件費の増加、事務所拡張移転に伴う地代家賃等の増加、M&Aなど各種政策的投資費用の増加により、営業利益は533,065千円（同34.6%減）、経常利益は533,265千円（同35.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は310,597千円（同45.1%減）となりました。

（注1）エンタープライズ系

企業の業務システムや情報システム、金融機関、病院、鉄道など大規模かつ社会基盤を支える情報システムなどに含まれ、それらの中心となる制御システムの総称

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、金融機関向けを中心としたエンタープライズ系領域の売上高が堅調に推移した他、新規大型再構築案件の上流工程・PMO（注2）・QMO（注3）や、大型マイグレーション（注4）案件への参画も増加しました。その結果、外部顧客に対する売上高は6,759,863千円（前年同期比13.6%増）と堅調に推移した一方、将来の成長へ向けた投資であるエンジニアの人材採用積極化に伴う採用費、入社時の案件にアサインしない期間の研修費用（新卒・未経験者は2カ月間、経験者は1カ月間）、自社開発ツールの開発費、事務所拡張移転に伴う地代家賃等が増加したことなどにより、セグメント利益は581,634千円（同25.5%減）となりました。

（注2）PMO（Project Management Office）

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

（注3）QMO（Quality Management Office）

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

（注4）マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

②Web／モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、アプリ開発やセキュリティ・脆弱性診断に係る売上高が増加しました。加えてM&Aにより2社を新規連結したことも売上高の拡大に貢献しております。その結果、外部顧客に対する売上高は886,621千円（前年同期比56.2%増）と伸長しました。一方で開発が一部遅延していることや、のれんの償却費の増加などにより、セグメント利益は13,813千円（同84.6%減）となりました。

③ オフショアサービス事業

当事業においては、新規案件の開始により売上高は第2四半期までに比べ増加傾向にあるものの、教育に関する費用が先行発生（第4四半期は解消し収益化見込み）となった結果、外部顧客に対する売上高は23,291千円（前年同期比18.1%減）、セグメント損失は24,145千円（前年同期は5,396千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,285,016千円となり、前連結会計年度末に比べ390,911千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加251,330千円によるものであります。固定資産は1,826,361千円となり、前連結会計年度末に比べ631,366千円増加いたしました。これは主にのれんの計上等による無形固定資産の増加563,600千円、投資その他の資産の増加39,162千円によるものであります。

この結果、総資産は5,111,378千円となり、前連結会計年度末に比べ1,022,277千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,776,693千円となり、前連結会計年度末に比べ127,763千円増加いたしました。これは主に買掛金の減少60,135千円、短期借入金の増加200,000千円及び未払法人税等の減少178,469千円によるものであります。固定負債は613,976千円となり、前連結会計年度末に比べ580,303千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加580,374千円によるものであります。

この結果、負債合計は2,390,670千円となり、前連結会計年度末に比べ708,066千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,720,707千円となり、前連結会計年度末に比べ314,211千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益310,597千円の計上に伴う利益剰余金の増加及び新株予約権の増加3,346千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.2%（前連結会計年度末は58.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日（2024年2月14日）に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535,447	1,786,777
受取手形、売掛金及び契約資産	1,208,289	1,218,037
電子記録債権	7,003	—
その他	143,364	280,200
流動資産合計	2,894,104	3,285,016
固定資産		
有形固定資産	185,212	213,816
無形固定資産		
のれん	350,142	884,343
その他	101,333	130,732
無形固定資産合計	451,476	1,015,076
投資その他の資産		
繰延税金資産	178,743	150,616
その他	379,563	446,852
投資その他の資産合計	558,306	597,468
固定資産合計	1,194,995	1,826,361
資産合計	4,089,100	5,111,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	310,107	249,971
短期借入金	115,000	315,000
1年内返済予定の長期借入金	21,948	91,944
未払金	556,967	538,387
未払法人税等	255,876	77,407
賞与引当金	175,550	118,212
その他	213,480	385,770
流動負債合計	1,648,930	1,776,693
固定負債		
長期借入金	32,799	613,173
退職給付に係る負債	72	45
その他	802	758
固定負債合計	33,673	613,976
負債合計	1,682,603	2,390,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	775,589	776,440
利益剰余金	1,719,472	2,030,069
自己株式	△177,373	△177,330
株主資本合計	2,407,687	2,719,179
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,191	△1,818
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△1,818
新株予約権	—	3,346
純資産合計	2,406,496	2,720,707
負債純資産合計	4,089,100	5,111,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,548,115	7,669,776
売上原価	4,607,851	5,485,722
売上総利益	1,940,264	2,184,053
販売費及び一般管理費	1,124,586	1,650,988
営業利益	815,677	533,065
営業外収益		
受取利息	13	16
助成金収入	9,104	2,528
為替差益	1,806	1,831
その他	1,176	1,004
営業外収益合計	12,100	5,381
営業外費用		
支払利息	1,158	4,873
支払保証料	308	308
営業外費用合計	1,466	5,181
経常利益	826,310	533,265
特別損失		
固定資産除却損	1,092	—
投資有価証券評価損	—	30,000
特別損失合計	1,092	30,000
税金等調整前四半期純利益	825,217	503,265
法人税、住民税及び事業税	228,253	152,279
法人税等調整額	31,377	40,388
法人税等合計	259,630	192,667
四半期純利益	565,587	310,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,587	310,597

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	565,587	310,597
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△392	△626
その他の包括利益合計	△392	△626
四半期包括利益	565,194	309,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,194	309,970
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

株式会社シンフォーについては、全株式を取得したため、バルテス株式会社（2023年10月1日付でバルテス分割準備株式会社より商号変更）については、新規設立したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

フェアネスコンサルティング株式会社については、全株式を取得したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、当該3社はいずれも当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,951,997	567,686	28,431	6,548,115	—	6,548,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,666	149,717	39,082	197,466	△197,466	—
計	5,960,663	717,403	67,514	6,745,581	△197,466	6,548,115
セグメント利益	780,971	89,612	5,396	875,980	△60,303	815,677

(注) 1. セグメント利益の調整額△60,303千円は、セグメント間未実現利益の調整額等2,216千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△62,520千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,759,863	886,621	23,291	7,669,776	—	7,669,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,719	212,005	9,816	234,540	△234,540	—
計	6,772,583	1,098,626	33,107	7,904,317	△234,540	7,669,776
セグメント利益又は損失 (△)	581,634	13,813	△24,145	571,302	△38,237	533,065

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△38,237千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△15,738千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用の純額△22,498千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

（子会社の取得による資産の著しい増加）

第1四半期連結会計期間において株式会社シンフォアの株式を取得したこと、及び当第3四半期連結会計期間においてフェアネスコンサルティング株式会社の株式を取得したことにより、当該2社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末のWeb／モバイルアプリ開発サービスセグメントのセグメント資産が1,239,829千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第1四半期連結会計期間において株式会社シンフォアの株式を取得したこと、及び当第3四半期連結会計期間においてフェアネスコンサルティング株式会社の株式を取得したことにより、当該2社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第3四半期連結累計期間においてWeb／モバイルアプリ開発サービスセグメントののれんが562,863千円増加しております。